



令和7年3月26日
海上保安庁

大型灯台へのLED光源整備の推進 ～新たな「光」により海の安全を守ります～

これまで、大型灯台の光源に電球を使用していたところ、海上保安庁では新たに開発したLED光源に置き換える整備を進めています。
新たな「光」により船舶交通の安全確保に貢献してまいります。

海上保安庁では、近年の技術向上を受け、航路標識用に当庁独自に開発したLEDを使用した大型灯台のLED化を進めています。このような新技術を活用した長寿命で災害に強い機器を整備することにより、航路標識の運用が一層安定し、船舶交通の更なる安全への貢献が期待できます。

海上保安庁では、これら灯台の整備により引き続き船舶交通の安全確保に貢献してまいります。

(1) 禄剛埼灯台 (石川県珠洲市：七尾海上保安部所管)

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により、レンズが損傷し正常に灯火を点灯させることができない状態となっていましたが、令和7年3月25日、LED灯器の設置により復旧しました。



(レンズの破損状況)



(LED光源設置後)

(2) 劔埼灯台 (神奈川県三浦市：横須賀海上保安部所管)

令和7年3月25日、現在の技術を活用し光源をLED化しました。



(電球使用時)



(LED光源設置後)

(参考) 禄剛埼灯台、劔埼灯台について

① 禄剛埼灯台

禄剛埼灯台は、能登半島の先端に位置しており明治 16 年の灯台設置以降、
沖を航行する船舶の安全を守り続けています。

[B E F O R]



(レンズ：破損前)



(レンズ：破損後)

[A F T E R]



(LED 光源設置後)

所在地：石川県珠洲市
光達距離：18.0 海里
(約 33.3km)
定格寿命：6,000 時間
(約 1.2 年)
↓
40,000 時間
(約 17 年)

② 劔埼灯台

劔埼灯台は、三浦半島の先端に位置しており、明治 4 年の灯台設置以降、
沖を航行する船舶の安全を守り続けています。

[B E F O R]

電球



(電球使用時)



[A F T E R]

LED 光源



(LED 光源設置後)



所在地：神奈川県三浦市
光達距離：17.5 海里
(約 32.4km)
定格寿命：9,000 時間
(約 2 年)
↓
25,000 時間
(約 5 年)